

2018年12月25日

全銀 EDI システム(ZEDI®) 向けパッケージソフト「金融 EDI サポート™」の提供開始

株式会社NTTデータフロンティア

株式会社NTTデータフロンティア(本社:東京都港区、代表取締役社長:服部高弘、以下:NTTデータフロンティア)は、2018年12月25日にスタートする全銀EDIシステム(愛称:ZEDI(ゼディ)、以下:ZEDI)にあわせて、ZEDI向けパッケージソフト「金融EDIサポート」の提供を開始します。

【背景】

2018年6月に発表された政府の「未来投資戦略2018」を踏まえ、2020年度までに送金電文/入金電文のXML^{注1}化を実現する必要があります。

2018年12月にZEDIがスタートし電文がXML化されることで、企業間でやり取りする電文に請求書番号等の金融EDI情報^{注2}が添付可能となり、金融EDI情報を利用した売掛金の入金消込の効率化を図ることが可能になります。

一方、企業ではこのような動向を踏まえ、会計システムの電文XML化に伴うバージョンアップや、電文XML化に対応した会計システムへの入れ替えを実施する必要があります。

企業のZEDI対応に関するコスト軽減のために、NTTデータフロンティアが持つでんさい向けパッケージソフト「一括請求 Assist®」のノウハウ・開発実績を活かし、企業が求める電文の作成/確認機能をパッケージソフトとして提供する必要があると考え、ZEDIスタートに合わせて提供することにしました。

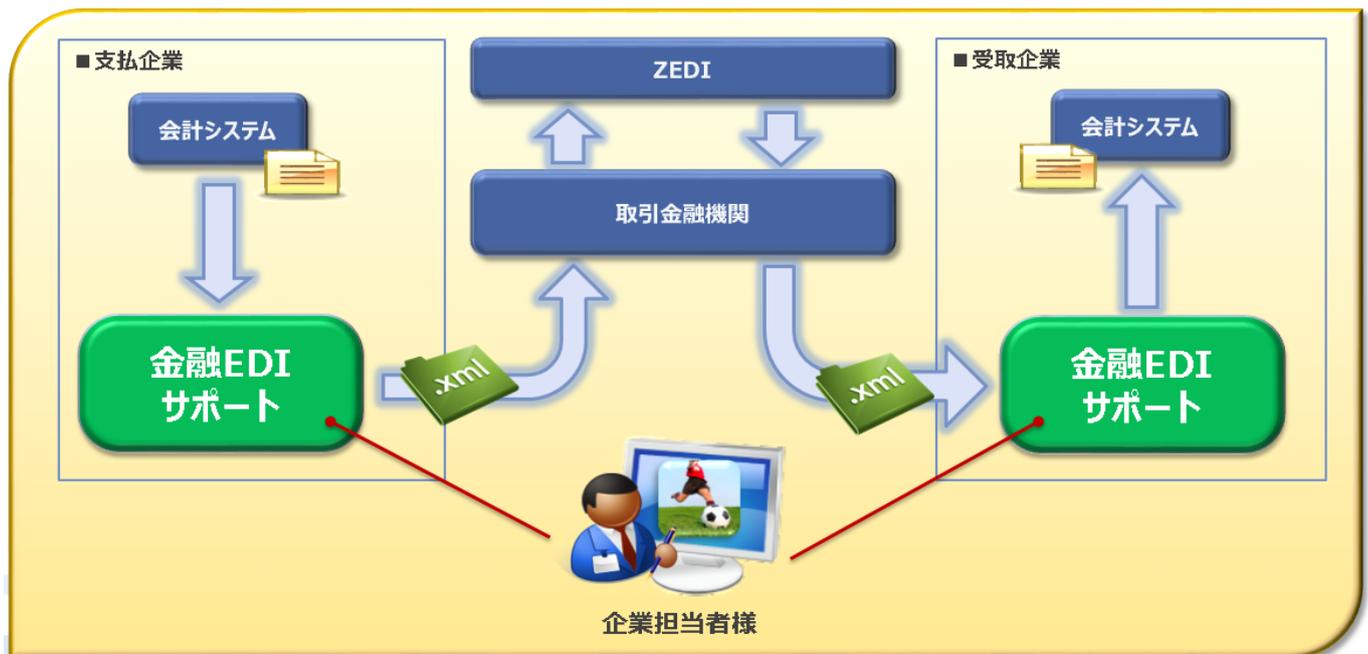


図1: 概要図

【特徴】

「金融 EDI サポート」の主な特長は以下の通りです。

1. 会計システムとの連携

企業が利用中の会計システムでは、既存の送金電文出力機能を具備しています。「金融 EDI サポート」は、会計システムより出力した既存の送金電文を読み込み、最小限の手入力で XML 送金電文を作成することが可能です。

2. 会計システム未導入企業の ZEDI 利用をサポート

会計システム未利用企業が送金情報を Excel で管理している場合、Excel より「金融 EDI サポート」の画面にコピーアンドペーストすることで、簡単に XML 送金電文を作成することが可能です。

また、会計システム未導入企業が入金消込を実施する場合、XML 入金電文を帳票に変換することで入金消込の効率化をサポートします。

【「金融 EDI サポート」導入のメリット】

「金融 EDI サポート」利用企業は、以下のメリットを享受することができます。

- 1. 会計システムの電文 XML 化に伴う対応コストを軽減し、入金消込の効率化を図ることが可能になります。
- 2. 会計システムを導入していない企業でも、XML 送金電文作成や XML 入金電文確認が可能になります。

【今後の展開】

今後、「金融 EDI サポート」は会計システムとの連携機能の強化、企業目線に立った便利機能の充実、各業界の金融 EDI 情報標準の取り込みを行うことにより、企業の利便性向上を目指します。

注 1: 「eXtensible Markup Language」の略。膨大な情報を搭載する技術。

注 2: 受注番号、請求書番号、金額等の、商取引に関する各種情報。

注) 「ZEDI」は日本国内における一般社団法人全国銀行資金決済ネットワークの登録商標です。

注) その他の商品名、会社名、団体名は、各社の商標または登録商標です。

【本件に関するお問い合わせ先】

<p>■ 【報道に関するお問い合わせ先】</p> <p>株式会社NTTデータフロンティア 経営企画本部 企画担当 小笠原・富山 TEL:050-5556-6760</p>	<p>■ 【パッケージソフトに関するお問い合わせ先】</p> <p>株式会社NTTデータフロンティア 第二システム開発本部 第一開発部 第一開発担当 城市・小川 TEL:050-5556-6781 E-mail:gr-edisupport@nttd-fr.com</p>
--	--